

副産物情勢

1月16日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																								
内 臓	1.国産牛	○ 11月の成牛と畜頭数は、108.8千頭(前年比98.0%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:55.6千頭(前年比103.3%)、交雑牛:24.5千頭(同97.4%)、乳牛去勢:11.1千頭(同92.0%)となった。 ○ 12月の成牛と畜頭数は、速報値(12月31日まで集計)で96.0千頭(前年比97.3%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(12月26日公表)によると、12月の出荷頭数は、乳用種で減少が見込まれるものの、和牛、交雑種では増加が見込まれることから、前年を上回ると予測し、1月は、和牛、乳用種の減少が見込まれ、交雑種で増加が見込まれものの、前年同月を下回ると予測する。 (12月 105.3千頭(前年比106.3%)、令和6年1月 83.4千頭(同98.9%))。 ○ 需 給 動 向 ： 外食やECサイト等の需要が伸長しており、出荷頭数が増加しているなかでも堅調な荷動きが続いている。 但し、シマ腸は安価な輸入原料に一部のユーザーが切替をする等の動きが出ている。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	令和3年4月 1日	35	7																								
令和3年4月 26日	25	5																									
令和3年10月 18日	35	7																									
令和4年2月7日	25	5																									
令和4年4月4日	35	7																									
令和4年8月8日	45	9																									
2.国産豚	○ 11月の全国豚と畜頭数は、1,483千頭と前年並み(前年比100.0%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道101.9%、東北100.3%、関東101.4%、北陸甲信越97.5%、東海95.8%、近畿96.2%、中四国99.7%、九州・沖縄99.4% ○ 12月の全国と畜頭数は、1,426千頭(速報値12月31日まで集計、前年比97.4%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は71,280頭(前年実績:73,152頭/日、前年差△1,872頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;12月21日付け)によると、1月;1,420千頭(前年比103%)、2月;1,319千頭(同101%)、3月;1,437千頭(同98%)、4月:1,409千頭(同106%)、5月:1,330千頭(同97%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 ： 肉フェス等の催事でホルモン焼きやモツ煮込みの需要が増加しており、値ごろ感のある豚内臓を求めるユーザーのすそ野は拡大傾向である。 出荷頭数が回復基調にあるなかでも全体的に堅調な荷動きが続いている。	2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
令和3年3月 11日	35	4																									
令和3年4月19日	25	3																									
令和3年10月 15日	35	4																									
令和4年2月1日	25	4																									
令和4年3月28日	35	4																									
令和4年8月1日	45	5																									
3.輸入牛	○ 11月の輸入通関実績は、全体で33.4千トﾝと前年を下回った(前年比84.7%、前月比82.9%)。 内訳ではチルド:14.5千トン(前年比82.0%、前月比86.2%)、フローズン:19.0千トﾝ(前年比86.9%、前月比80.5%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州が増加し、フローズンは全体的に減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、12月、1月ともに、生産量の増加から豪州産が増加するものの、現地相場の高騰もあり、米国産が減少することから前年同月を下回ると見込んでいる。 フローズンは、引き続き国内の輸入品在庫量が多く、12月は北米の現地相場の高騰により、1月は輸入先全体からの輸入量が少ないため前年同月を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年12月 合計:36.5千トﾝ(前年比97.4%)、チルド:15.3千トﾝ(同99.1%)、フローズン:21.2千トﾝ(同96.5%) 令和6年 1月 合計:36.6千トﾝ(前年比91.7%)、チルド:15.6千トﾝ(同97.1%)、フローズン:21.0千トﾝ(同88.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年11月):牛腸(冷凍) 1,212.9トﾝ(前年比120.8%・前月比103.6%) 国別実績;米国948.9トﾝ、豪州124.5トﾝ、カナダ93.2トﾝ、メキシコ45.8トﾝ、パナマ0.5トﾝ 牛レバー(冷凍);75.1トﾝ(前年比129.9%・前月比79.9%) 国別実績;米国29.9トﾝ、メキシコ29.0トﾝ、豪州16.2トﾝ	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
令和元年7月22日	700	10																									
令和2年3月16日	500	10																									
令和2年6月15日	100	10																									
令和2年7月20日	100	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年5月24日	10	10																									
令和5年10月16日	10	2																									
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 11 月) : 42,903枚(前年比114.9%、前月比89.5%) 国別実績;タイ32,758枚(前年比166.7%)、韓国6,985枚(同67.1%)、ベトナム2,560枚(同42.1%)、フィリピン600枚(同50.0%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 5 年 11 月) : 2,458円/枚(前年差△144円、前月差+165円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 11 月) : 牛大判皮19,979枚(前年比48.8%、前月比62.3%)、ウェットブルー27,681枚※(同246.6%、同172.2%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年11月):牛大判皮8,432円/枚(前年差△922円、前月差+217円)、ウェットブルー10,094円/枚(同+1,798円、同+2,306円) ○ 海 外 情 勢 : 製造段階での諸経費増高や製品革ユーザーが高い素材を敬遠しているため、世界シェア0.1%の日本産原皮は厳しい状況が続いている。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品マーケットの縮小に加えて、タンナーの人手不足・高齢化等により品質低級原皮の荷動きが非常に悪い。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
令和元年8月15日	1,000	10																									
令和2年3月16日	800	10																									
令和2年6月22日	300	10																									
令和2年7月27日	300	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年6月1日	10	10																									
令和5年10月23日	10	2																									
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 11 月) : 1,067,980枚(前年比101.3%、前月比113.6%) 国別実績;タイ854,460枚(前年比97.7%)、カンボジア160,200枚(同133.8%)、韓国28,300枚(同404.3%)、ベトナム25,020枚(同47.1%) 輸 出 平 均 価 格 (令 和 5 年 11 月) : 365円/枚(前年差△66円、前月差+24円) ○ 需 給 動 向 : 皮革製品需要の低迷等により海外タンナーは原皮の仕入に対して慎重になっているが、日本産原皮は滞留なく出荷されており、各国の輸出価格は2か月連続上昇した。 12-1月の出荷は中国の春節(長期休暇)を控えているため、海外タンナーから足元を見られた価格提示を受ける可能性がある。																										
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(12月渡し):牛脂145円/kg(前年差△50円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同△35円、同±0円) 牛脂は、大手ファーストフード向け需要や石鹼向け需要の回復等により需給の緩みが改善傾向である。 豚脂は、一時と比べて強いタイト感が薄れているが、大幅な緩みには至っていない。 ○ マレーシア産パーム油相場(11月):153円/kg(前年差△15円、前月差+5円) 11月生産量は179万トン(前月比92.3%)、輸出量は140万トン(同94.3%)、月末在庫は242万トン(同98.9%)となった。 大手ユーザー国のインド・中国への輸出需要が伸び悩んでいるが、季節的な減産期入りや乾燥天候への懸念等による供給不安により今後も底堅い展開が予想される。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (12 月) : 124円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (12 月) : 95円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(12月):123円～126円/kgあたり(前年差△20円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年3月1日</td><td>155</td><td>150</td></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
令和4年3月1日	155	150																									
令和4年4月1日	175	170																									
令和4年7月1日	195	190																									
令和5年1月1日	175	175																									
令和5年4月1日	165	175																									
令和5年7月1日	155	165																									
令和5年10月1日	145	155																									